

日々の学習の確かな積み上げに！

数専ゼミ・塾生募集のご案内

数専ゼミでは
どんなことが学べるのかの紹介です。

学校の授業の整理と練習

学習計画書とは

單元ごとに「学習計画書」があります。

(小5から高3までの全単元の「学習計画書」を数専ゼミのホームページで見ることができます。)

それぞれの単元の「学習計画書」には、その単元で身につけるべき学力の具体的内容が学習項目の欄にリストアップしてあります。また、それぞれの学習項目となる学力を習得するために学習すべき問題のすべてを掲載してあります。

学習する単元は、いつでも、どれでも選んで指導を受けることができます。

通常は、今学校で学習している単元を選んで受講します。定期テスト対策の学習です。

特に苦手な単元全体や特定の内容を復習しておきたいときは、それを選んで指導を受けることができます。基礎を固める学習です。

学習項目(学習目標)とは

学習項目とは「ある問題」を解法パターン別に分類したものです。習得すべき学力の具体的内容です。例えば、中1の「方程式の計算」の学習項目は次の(1)～(7)のようになっています。

- (1) 移項
- (2) $aX + b = cX + d$ 型の方程式
- (3) () をふくむ方程式
- (4) 分数をふくむ方程式 (非通分型)
分数をふくむ方程式 (通分型)
発展問題 (非通分型と通分型の混合)
- (5) 小数をふくむ方程式
* 小数と分数の混合算は小数を分数に直すことで
(4) 分数をふくむ方程式になります。
- (6) 方程式の解き方のまとめ①: (1)
方程式の解き方のまとめ②: (2)～(5)
- (7) 補充問題 (方程式と文字式の違い)

「方程式」全体の学習目標は → Link : | Essay_495 |

- (1) は方程式の計算の基礎ツールを学びます。
- (2)～(5) 型別に計算の練習をします。
- (6) は型を混合して解きながら、型を判別しながら計算する力を学びます。応用力です。
- (7) は方程式と文字式の違いを学習します。

★

それぞれの学習項目は、次の5ステップで学習します。

- 1 ★知識の整理★ 用語、定理を覚える
- 2 ★解法の技術★ 問題の解き方を学ぶ
- 3 ★理解のチェック★ 解法の理解を確かめる
- 4 ★演習★【数題】問題の解き方に習熟する
- 5 ◇発展演習◇【数題】応用範囲を広げる
(学習項目によっては省略されるステップがあります。)

いきなり問題を解くのではなく、最初に解法を学習し、それが使えるようになったことを確認してから、それを使って問題を解き、その応用範囲を広げていくという学習システムです。

学習の記録と「解けない」をつぶす学習

解いた問題のすべての正誤は、○と×で「学習計画書」に記録されます。×問題は、家で復習してきて次回に再テストを受けます。すべての問題が○になるまで復習を繰り返します。

「学習記録」のサンプルは → Link : | Essay_495 |

毎回の授業の前に、前回までに解いた問題の正誤を記録した「学習計画書」を渡します。

問題が解けないのは、その問題を解くのに必要な知識(「基礎」)を持っていなかったり、間違っていて覚えていたりすることが原因です。だから、ひとつひとつの問題は、きちんと解けるようにしてから次の学習項目へ進むようなシステムで学習を積んでいきます。

(これを「学力化学習法」といいます。詳しくはホームページをご覧ください。)

★夏期講習会(7月24日～29日/7月31日～8月5日): 詳細はホームページでご案内しております。★

学習する順序

学習する単元やある単元の中の学習する項目については自由に選んで指導を受けることができます。また、いつでも変更が可能です。

学習項目やその中で学習する問題については基本的には、最初から順に学習します。基礎から順に学習を積んでいくことではじめて難しい問題も解けるようになるからです。

だから、今の学力なら「この問題は解ける」と判定される問題については、先生から学習を省略する指示があります。

弱点補強学習(復習)

「解けない問題」があるとその問題(基礎)を使って解く問題は解けません。数学が積み上げの教科であるからです。逆に、「解けない」を見つけ、それを潰すことでどんな問題でも解けるようになります。しかし、実際は、どうやって「解けない問題」を見つけ、「解ける」に変えるかが分からないのです。そんなときは50年間数学を指導してきた数専ゼミにご相談してみてください。今学すべきことが見つかります。

数専ゼミでは、「スポット授業」というのがある。ある特別のテーマにしぼって数回の授業を集中して受けることができます。このシステムを使うことで、短期間で一気に「解けない」を「解ける」に変えてしまうことができます。

また、多くの単元の復習が必要な場合には、通常授業で弱点補強の学習だけをすることもできます。徹底的に「基礎」を固める学習です。

24時間365日質問指導

自宅で勉強しています…

学校の課題プリントや問題集の問題を解いています。あるいは、問題集を使って入試対策の勉強をしています。

解けない問題があったので、解答を見ました。

なんか、よく理解できません。

さて、こんなときどうしていますか？

解けない問題については、24時間365日無料質問指導というのをしております。

時間とお金が節約できます。詳しくは下記へ

→ Link : | [質問箱](#) | → [質問のしかた](#)

■山形大学入試問題分析資料→Link : | [Essay](#) |

入試対策(高校入試, 大学入試)

【1】山形県公立高校入試対策

まず、学校の定期テストで高い点数をとっておくことです。基礎がしっかりしていないと入試問題など解けないからです。また、学校の成績がよければ推薦で絶対に有利になります。

一般入試の問題は、学校で学習した内容だけでは決して解けません。入試対策としては、まず出た問題はすべて「解ける」にすることです。

方程式の文章題、1次関数の応用問題、図形の証明問題については、1、2年から学習することができます。数専ゼミの入試対策としては、50年分の過去問を単元別に学習します。これだけ過去問を練習すると、解けない問題がなくなり自信をもって入試に臨むことができます。他塾ではまねのできない専門塾のすごさです。

【2】大学入試(山形大学入試)対策

山形大学入試の基礎と過去問の指導をします。過去問は赤本がありますが、わかりにくく一人で学ぶには困難です。数専ゼミでは過去問の1題1題について、その問題を解くのに必要な基礎問題を解けるようにしてから過去問を解くという手順で、過去問5年分の全問題を確実に解けるにします。教材サンプル →Link : | [Essay](#) |

【3】共通テスト対策

共通テスト対策用参考書は分かりやすいものが数多く出版されており、一人で学習できます。また、学校でも無料でていねいに指導してくれます。このうえ「塾でも…」などは無駄です。そこで、数専ゼミでは、個人的な過去問学習を前提とし、予備校の共通テスト模試の問題を、1、2年生でも学習できるように編集した問題を解きながら、共通テストの実戦力・応用力を高めることに特化した指導をします。80%くらいをねらうレベルの学習です。

数専ゼミでは、90分授業を週2回受講すれば学校の授業の補習と受験対策の両方の学習を並行して進めることができます。

数専ゼミ

山形市東原町二丁目10-8

TEL 633-1086

suusenn.com



■無料体験学習からどうぞ。お電話で予約できます。

★夏期講習会(7月24日~29日/7月31日~8月5日):詳細はホームページでご案内しております。★